



1996～1997年度RIテーマ
築け未来を
行動力と先見の眼で

青い空 緑の山と風
 黄色のうねりは
 人類の理想 文化を表わす。
 それらが混然一体調和して
 ロータリーの理想に向って
 昂って行く姿を示している。



国際ロータリー第2750地区

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

No. 306 7-30

1997. 2. 26 発行

Weekly Report

地域社会に貢献する事だと言われます。ロータリー綱領を理解して、実践に努めていただきたいと思います。

◎幹事報告 幹事 須藤 起雄

- 1.小野直美さんのアメリカからの現況報告が届いております。お読み下さい。
- 2.会費や地区大会の登録費用の振込みに関して番号の間違いのないように必ず指定された口座番号に振込みをお願い致します。
- 3.3月8日(土)に日本青年館で行われる1997年派遣学生激励会の案内がきております。内容は橋口会員に連絡しますので内容検討をお願いします。

クラブの標語 **"奉仕の実践"**

...行動する多摩グリーン...

第306回例会報告 (2/26)
 (1996年～1997年度第31回例会)

- | | | |
|------------------|---------|-------|
| 司会 | SAA委員会 | 宿院 利幸 |
| ◎点鐘 | 会長 | 遠藤 二郎 |
| ◎ロータリーソング「我等の生業」 | ソングリーダー | 吉沢 洋景 |
| ◎お客様紹介 | 会長 | 遠藤 二郎 |
| 篠塚 武雄様 (東京多摩RC) | | |
| 井上 好弘様 (東京多摩RC) | | |

◎会務報告 会長 遠藤 二郎

先般FAXにてお知らせ致しましたが、橋口会員のご尊父の橋口 秀夫様のご逝去されました。享年85才。

謹んでご冥福を祈り、黙禱を捧げたいと思います。

やっと春めいて参りました。本年度はガバナー公式訪問も終え、下半期の主要行事としての地区大会まで、クラブとして暫く落ち着きを取り戻せる時期になりました。

この時期は、クラブとしての行事は余りありませんので、ロータリアンとして、本来の使命である個人の職業を通しての、社会奉仕、職業奉仕に専念させていただきたいと考えます。クラブ奉仕も大事なのは言うまでもありませんが個々のロータリアンとしての奉仕は個人の職業をとうして

◎次年度会長報告 会長エレクト 吉澤 洋景

- (1)被選役員の欠員補填も完了いたしましたので、次年度クラブ委員会組織一覧表を承認し、本日お配りしてあります。(最終頁に掲載)
- (2)2月14日に東分区の次年度会長・幹事会が開催されました。席上次年度よりガバナー公式訪問、IMの日程及び方式が変更となる旨発表がありましたが、種々質問があり、今回は結論には至りませんでした。

委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦委員会 内田 茂男

- 遠藤 二郎…お客様ようこそ。
 猪股 末男…先週欠席したので。
 山崎 光…かぜがはやっています。気をつけましょう。
 森田 舞子…昨日久しぶりに都内110KM走行(運転)し良い気分でした。
 遠藤 立…梅も満開、桃もポチポチ、春も近いと感じら

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長: 遠藤 二郎 副委員長: 田畑 博
 幹事: 須藤 起雄 委員: 大松誠二・伊藤英也・村上久
 会報委員長: 小坂 一郎 杉野志保子・山崎光一
 例会場 京王プラザホテル多摩 (たまつばき)

事務局: 東京都多摩市落合1-43
 京王プラザホテル多摩 561号
 TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

れるので。

内田 茂男…梅は咲いたが桜が待ちどうしい今日此頃です。
絆工房一同…先週は盛会でした。お茶代の釣銭です。

本日合計 金12,690円 (累計 846,249円)

◎出席報告

出席委員長 橋口 洋三

会員総数 57名

出席者数 43名 欠席者数 14名

本日出席率 77.19% (44/57)

2/12	訂正出席率	89.47%	(51/57)
------	-------	--------	---------

2/5	最終訂正出席率	82.46%	(47/57)
-----	---------	--------	---------

欠席者 赤尾 恭雄、長谷川 明宏、伊神 稔、
伊澤 ケイ子、北村 幸彦、中山 順一郎、
坂田 育男、関岡 俊二、新海 源四郎、高村 弘、
戸田 昭寿、津守 弘範、横倉 譲、相澤 希一
メイクアップ

田中 実 2/18 多摩RC

猪股 末男 2/18 多摩RC

伊神 稔 2/15 地区青少年交換委員会

赤尾 恭雄 2/15 地区R財団委員会

◎橋口会員よりご尊父ご逝去に際しての厚志に対してお礼
の挨拶がありました。

イニシエーションスピーチ

福島 達也

まず自己紹介をさせていただきます。

私は生まれも育ちも国立市でして、仕事をするようになってから多摩市にきました。学校の方はなかなか腰が落ち着かなかったのが、ちょっと何校か回り道をしておりますので、皆様の中には私の先輩の方もいらっしゃるかとは思いますが、どうぞ無礼な若造でございますが何卒よろしく願いたいします。

小中学校は国立3小・国立1中にお世話になりまして、高校は立川高校に進学いたしました。高校ではもっぱら勉強よりも野球を好みまして、野球漬けの毎日でありました。もちろん目指すは甲子園ということでやっておりました。立高は都立の星と騒がれました、元巨人軍の松本投手を送り出すほど、都立の中では強い学校でした。先日卓話にい

らっしゃった調布むらさきの林会員も立高野球部の大先輩です。

しかし、私の代はひどかったです。それはもう先輩がたには本当に心配を御掛けしまして、最後の夏の大会を前にして、先輩がたの中には「君たちは野球はさっさと負けて、早く勉強しなさい」といわれる始末でした。野球部は数少ない封建社会の世界ですから、結果はもちろん先輩の教えを忠実に守りまして、さっさと負けました。おかげで勉強は他の学年よりも少し多くできたのが救いでした。

そして大学受験を迎えて、困ったことはどこの学部にしようかということでした。なにしろなりたい職業はと聞かれると当時は「実業家になりたい」などと答えていましたので、どこの学部に行ったら実業家になれるのか迷いました。それでもやっぱり経済あたりだろうと思っておりましたが、共通一次が終わるや否やそんなことは忘れて、もう受かるところで通えるところならどこでもいいと方針を変えまして、結局横浜国立大学の教育学部に進学いたしました。入学後、やっぱり何か事業を起こしたくて考えたのが学習塾です。立高の先輩である川端さんが国立学院予備校を学生のときに始めて、成功したという良い例がありましたので私の後に続けとやりはじめました。

始めは夜だけぱっと教えて終わっていたんですが、だんだん面白くなってのめり込んでいきまして、大学どころではなくなり結局中退してしまいました。しかし、当時から人口の高齢化とともに、出生率の低下が予想されていたので、塾だけではまずいということで宅建とか行政書士の資格を取得しておきました。

また、大学の雰囲気は好きだったのでその後も受験しては通学して、途中で挫折するというのをくりかえしました。好奇心がとにかく旺盛なので通った学部はすべて違う分野の学部なのですが、日本大学の芸術学部、東京理科大学の工学部といったところには大変ご迷惑をおかけいたしました。

そんな中、もう大学も最後にしようと思って通った東京都立大学で、とても良い先生に巡り合いまして、そのまま大学院に進学をしまして、長い長い道のりに終止符を打ちました。大学院は都市科学研究科というところで、私の専攻は主に「福祉のまちづくり」を研究しておりました。おとなりの町田市は「福祉のまちづくり」にかなり力を入れておまして、全国でも市町村単位では一番とっていい

ほど進んでおりますが、その町田の福祉政策を指導していたのが私の指導教官でありまして、私もずいぶん町田に通っていろいろ勉強させられました。そのまま公務員にもなるならそれが役に立つのでしょうかけれど、今の自分にはあまり関係ないかもしれません。ロータリークラブで何かお役に立てることがあれば、がんばりたいと思います。

そんなわけで、米山奨学生の宋さんとは同窓生ということになりますが、偶然にもここであってわかったのですが、共通の友人がおります。その彼は八王子西ロータリークラブの米山奨学生でありまして、よく彼から「ロータリーに行ってお金をもらってくる」という話を聞いておりました。ですから、ロータリークラブっていうのは外国の方なら誰でもお金をくれる所なのかと思っておりました。大変不勉強で申し訳ありません。

しかし、その外にもロータリーとの関わりはありました。世の中狭いもので、塾のテナントの仲介では10年ほど前から大熊会員の会社にお世話になっておりますし、塾の方の税理士顧問は法人設立当初から高野会員の奥様であります。これも何かの縁なのかと思います。

塾の方ははじめの頃は私が先頭に立って教壇に立ち、指導にあたっておりましたが、行政書士の仕事も始めておりましたので、そちらの方も少しずつお客様が付いてくるようになり、だんだん面白くなりまして、私は第一線からだんだん退いていきました。

今は業務の方はすべて従業員がやってくれておまして、子供たちには夜9時半に出発して、10時半頃には帰っていき変なおじさんと思われているようです。

次に行政書士の仕事についてお話ししたいと思います。

行政書士という仕事は何をやっているのかなかなかわかりにくい仕事でありまして、私も資格を取って10年経過しましたが、いまだにプロとは言い難いものがあります。

仕事の種類は9000種類にも及びまして、とてもすべてに手が回りません。弁護士や司法書士、税理士など最後に武士の土がつく職業を「土業」と呼ぶようですが、実際の行政書士の仕事は他の土業の下請企業的なものだと思っております。実に細かい仕事がありますので、ほとんどの行政書士の先輩がたは2つか3つに絞って仕事をしておられます。一番多いのが建設業許可や入札に関する仕事、次に宅建業免許に関する仕事、その外会社設立、風俗営業許可、入管関係、経理代行、自動車関係などが主要な仕事です。

私は好奇心旺盛の固まりのような男ですから、何でもやっております。これがとても重宝がられまして、私の所属する東京都行政書士会府中支部では、めんどくさいのはあいつに回せとばかり、かなり変わった依頼が飛び込んできます。この前はけんかの示談書を書きましたし、外国人の仕事探しですとか、会社の合併の仲介といった「書士」という言葉とかけ離れたこともしております。

しかし、こういう仕事の方がやりがいがあって面白いので、お金には結びつかない仕事もたくさんあります。自分の性格に合っているので好んでやっております。

皆様もこんなことやる人いないだろうなと思う仕事がありましたら、とりあえずご一報ください。

次に趣味に関してですが、趣味は大きく分けて2つあります。

1つはパソコンです。最近は行政書士会でもパソコンブームがかなり加熱しておりまして、先日は先輩がたを相手にパソコン講習会の講師をやらされました。初心者から実際に業務で使ったことのある方まで幅広く、結構教えるのは大変だったのですが、教える私が教わる方と同じ行政書士なので、業務と結びついて皆さんには大変喜んでいただきました。

2つめの趣味は学術論文の作成です。これは大学院の指導教官がとても熱心でして、手伝ってくれというので、今では趣味としてやっております。

昨年は3本学会で発表いたしました。

1つは名古屋での土木学会の全国大会。もう一つは室蘭での土木計画学の全国大会。3つめは東京での交通学会です。

その中でまぐれにも室蘭での学会で賞をいただきましたので、その内容を少し紹介したいと思います。

研究題目は「屋外歩行空間における高齢者の自損事故に関する研究」というのですが、簡単に言いますと、高齢者の方が外で転倒などをしてけがをすることに着目した調査研究です。

町田市には108の老人クラブがありまして、全部で9,000人の会員がいらっしゃいます。それらの方を対象にした調査でわかったことは、高齢者のおよそ1割強の方が1年間に1回以上外でけがをしており、その内の2割弱の方が骨折に至っておりました。特に外でのけがは冬に多く発生しておりますので、皆様もくれぐれもまだ冬ですので、外を

歩くときは注意していただきたいと思います。

それから年を取ると歩き方はだんだん幼児に戻っていきまして、その結果、若いときには何でもなかった段差や階段でけがをしてしまうことになるのです。ただ、段差や階段があるというそれだけの要素でけがをするのではなく、段差があってしかも手に荷物を持っていてつまづくとか、滑りやすい場所で通りすぎる車に気を取られて転ぶといった、要素の複合時にけがは起きているようです。

これを防ぐには絶対に無理をしないこと、身軽な目立つ服装で外に出ること、安全な場所を選んで歩くことといったことが考えられます。気持ちは若くでも、体はついていきませんので、皆様のようにはつらつとしていらっしゃる方でも、くれぐれもけがをして寝たきりになるといったことのないようご注意ください。

家族についてですが、家族は妻と子ども3人の5人家族で、とてもにぎやかに暮らしております。子どもは3人も男で、上から4歳、2歳、もうすぐ1歳という具合で、にぎやかというよりうるさいくらいです。私は戦争を経験しておりませんが、まるで家の中は東京大空襲のようであります。

このような私であります、先ほども述べましたように、

何か面倒くさいことがありましたら、またパソコンのことで何かお役に立てることがありましたらお気軽にご相談下さい。

その代わりというわけではありませんが、この春から加藤会員にお世話になりまして、この多摩センターの地に宅建と公務員の予備校を開校することになりましたので、どなたかなかなか宅建に受からないという方がいらっしゃいましたら、お声をかけていただければ幸いです。

また、ロータリアンとしましても、自分にできる範囲で精一杯理想を追求していきたいと思います。そのためにはまず「出席」そして「継続」ということからがんばりたいと思います。

このままいきますと、40代のシニアアクチブが誕生することになりますが、その頃にはシニアアクチブの名称もゴールドアクチブと変えるくらい、輝きを失わない会員でありたいと思います。そして、いつまでもこの日の私のように、新鮮な気持ちを忘れないでいたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

◎点 鐘

会 長 遠藤 二郎

(今週の担当 杉野)

1997～98年度 委 員 会 組 織

委員会名	委員長	副委員長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	高野	杉田	クラブ奉仕関連委員長全員及び会計
会 員 増 強	中山(恒)	遠藤(二)	藤本・長谷川
職 業 分 類	津守(任期一年)	海野(任期二年)	小城(任期三年)
会 員 選 考	杉山	大熊	橋口
ロータリー情報	遠藤(二)(任期三年)	萩生田(任期二年)	宮本(任期一年)
出 席	須藤	佐伯	森田
プ ロ グ ラ ム	長谷川	小坂	中山(恒)・田中
親 睦 活 動	関岡	小城	相沢・福島・伊神・小坂・根本・佐伯・田中・戸田・鶴海・横倉(舜)
S . A . A .	遠藤(立)	森田	赤尾・桧垣・飯島・小泉・小形新海・杉野・田島・津守・内田
ク ラ ブ 会 報	田畑	中山(順)	藤本・福島・伊沢・加藤・大熊・坂田・新海・宿院・高村
雑 誌	坂田	高村	城倉・須藤
広 報	伊藤	根本	伊神・小形
職 業 奉 仕	横倉(舜)	鶴海	足立・杉山・海野
社 会 奉 仕	小林	橋口	飯島・猪股・田島
環 境 保 全	猪股	戸田	小泉・中山(順)
地 域 発 展	飯島	北村	相沢・伊藤
国 際 奉 仕	平野	赤尾	伊沢・加藤・杉野・山崎
世界社会奉仕	加藤	足立	猪股
米山奨学事業	山崎	城倉	北村
ロータリー財団	杉野	宮本	桧垣
国際青少年交換	伊沢	萩生田	関岡
青 少 年 奉 仕	菊池	横倉(讓)	宿院・田畑・内田

*会長エレクト：会員増強関連4委員の監督・調整を担当